

ものづくり企業現場のひとづくり～
中堅幹部社員ステップアップ研修のご報告

2020 年 7 月 28 日

期間：2019 年 10 月～2020 年 7 月、計 12 回～各回午後 13:00-17:00

参加者： 沼津に本社の有る「ものづくり企業」 N 社

営業、製造、組立現場の次世代幹部候補者 9 名(30 代、40 代)

講師陣構成： 森本五百樹、手塚昂宏、雫二公雄(工業ものづくりグループ)、
佐藤秀治、井料敏和、(講演会・次世代人材育成支援グループ)計 5 名。

【研修のポイント】

研修開始前に、社長様、工場長様、現場管理責任者様とご要望を伺いながら意見交換させて頂き、下記の研修目的を設定しました。

1. コミュニケーション力のステップアップ
2. 業務改善力のステップアップ
3. 問題解決力のステップアップ
4. チーム活性化力のステップアップ

開始時点で、研修生の皆様と「現在の職場の問題点は何か」について討議を行い、上記目的と職場の課題とを紐づけし、研修テーマを展開しました。

研修の最後に、「今の現場をもっとよくするために実行したいこと」をテーマに、3グループ(営業、製造1、製造2)でワークショップを実施し、次の改善テーマをまとめ、研修後これを実施することを前提に検討しました。

研修生が最終回で提案した改善テーマ。

- 営業：①Techs のマニュアル作成による生産管理システム活用、
② 見積もり算出方法のシステム化
③ 客先日程情報の変更等の現場への伝達方法の改善

製造1: 工程スケジュール管理方法の改善

製造2: 顧客納期をキープするための課題の検討実施

研修生には講師陣より、このテーマを実践するにあたり、学んだことを、職場ぐるみで実際に使いこなすこと、又種々の改善を実施する上で、上司の後押し・配慮をお願い

しました。

また、最終回で会社トップ・幹部から以下のご講評をいただきました。大いに参加者の背中を押すこととなったと考えます。

- ・対話で気付き、風通しがよくなることを身に付けた。実践してほしい。
- ・教育他やりたかったことが沢山あるが、コロナ禍で余裕がある今こそやろう。
- ・研修内容で既にやっていることもある。弱かったのはコミュニケーションだった。
このネックが解消されることは大きい。実践してほしい。
- ・担当の製造だけではダメだ。会社は生き物で、生きているから課題が尽きない。
全体の繋がりをみてやる必要があることが分かったと思うので、実践してほしい。
- ・この研修参加者は次のリーダー候補だ。常々「社員の資質はトレーニングで能力になると考えている」、「8 カ月に及んだこの研修を、仕事のみならず各自の人生に、コロナ後を意識し活かすように」(社長)。
- ・提案のあったテーマの一つは、その場で実施が決まりました。

総合所感

- ・特に社内コミュニケーションの不足が課題でしたが、やれる、との実感をもっていただけと思います。講師陣一同、お一人お一人が自律的な改善活動の実践ができる研修になったと感じています。

【今後の取組について】

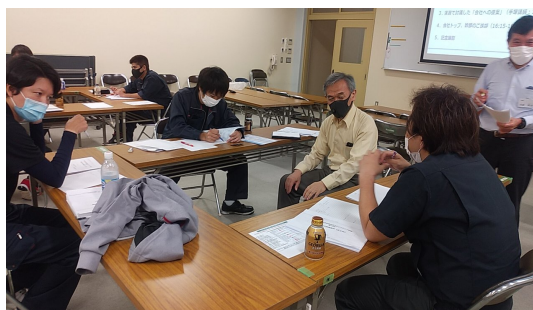
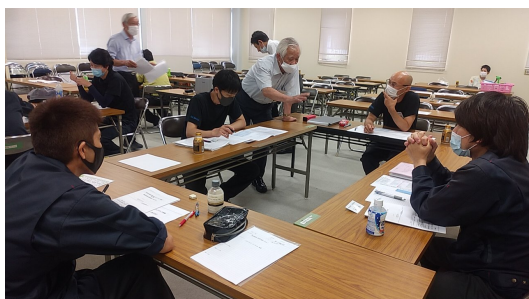
1. 当該社は地域の未来牽引企業として躍進する企業と思われます。
今後は経営計画・ 人事・人材育成計画等とのつながりを、より強く意図し、計画的に取り組むことをお薦めしました。
2. 今回の研修は、厚労省補助金(人材育成)を活用していると伺いました。コロナ禍で大きな転換期にあるなか「人材」の重要性が改めて認識されています。こうした補助金制度もフルに活用し、更に継続的な人材育成を図ることをお薦めしました。

【研修風景】

1・これまで学んだ技術・技法のポイントを確認(各講師より講義)。



2. 「今の現場をもっとよくするために実行したいこと」をテーマに、3グループ(営業、製造1、製造2)でワークショップ。



3. 会社トップ・幹部による、講評。(社長)

